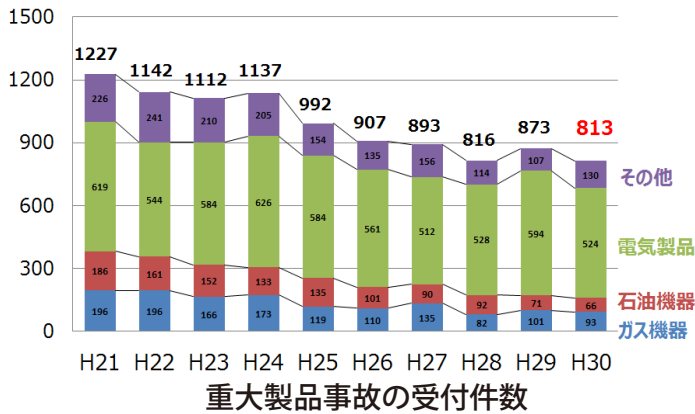


# 重大製品事故の発生状況

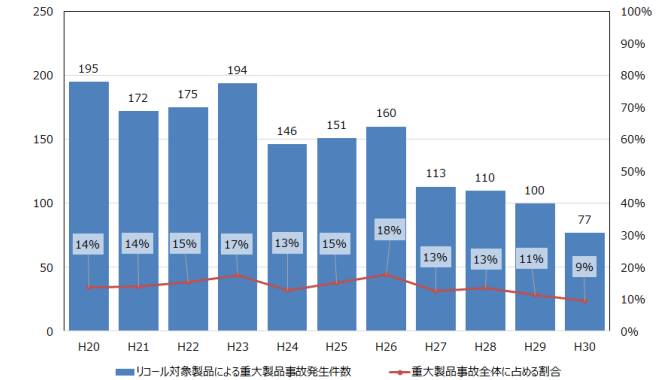
身の回りの製品による火災や死亡等の重大な事故は  
年間約1000件発生しています！

リコール対象製品による重大製品事故は重大製品  
事故全体の約1割を占める傾向にあります。

受付件数



(件)



リコール対象製品による重大製品事故発生件数

## 経年劣化が原因でこんな重大製品事故が起こっています！！

\* 重大製品事故とは、死亡、重傷、一酸化炭素中毒、火災、後遺障害事故など危害が重大な事故のことをいいます。(『消費生活用製品安全法』による定義)

**使用年数を考えて製品の劣化に注意して事故を予防しましょう！**

**メーカーによる点検で事故を防ぎましょう！**

**電気製品**

- エアコン**: 室外機の内部の電気部品(コンデンサー等)が故障して発煙・出火、小動物やほこり・湿気が電気基板部に侵入してトラッキング\*現象等が生じて発煙・出火
- 扇風機**: 電気部品(モーター/コンデンサー/首振り部の電気配線)が劣化してショート\*\*し発煙・出火
- ブラウン管テレビ**: 電気部品(高い電圧を作るトランス等)が劣化して放電し、ほこりや樹脂製部品に着火して出火
- 換気扇**: 電気部品(モーター/コンデンサー)が劣化してショート\*\*し発煙・出火、コンセントの差込プラグ部でトラッキング\*現象が生じて出火
- 洗濯機**: 電気部品(コンデンサー等)が劣化したり、内部の電気配線が振動により断線して発煙・出火

**ガス機器**

- ビルトイン式電気食器洗機**: 扉の開閉を繰り返すことにより、徐々に内部の電気配線が切れていき、発熱し出火
- 浴室用電気乾燥機**: 天井裏にある電源コードなどに接触不良が生じて発熱し出火
- 屋内式ガスふろがま(都市ガス/プロパンガス)**: 排気口のすれ・ほこりの堆積・換気不良による一酸化炭素中毒、排水口のつまりによりふろがまが繰り返し冠水しガス漏れして出火・爆発
- 屋内式ガス瞬間湯沸器(都市ガス/プロパンガス)**: 吸気口に堆積したほこりにより不完全燃焼が生じて一酸化炭素中毒、部品の劣化によるガス漏れで出火

**石油機器**

- 石油ふろがま**: ゴム製の部品が劣化して石油が漏れ、漏れた石油に火がついて出火
- 石油給湯機**: ゴム製の部品が劣化して石油が漏れ、漏れた石油に火がついて出火
- FF式石油温風暖房機**: ゴム製の部品が劣化して燃焼ガスが室内に漏れ、不完全燃焼により一酸化炭素中毒

\*トラッキングとは、ほこりや湿気の影響で、本来電気が流れない箇所が徐々に劣化していき、異常な電気が流れて発火に至る現象です。たとえば、テーブルタップやコンセントに電源プラグを長期挿し込んだままにしていると、コンセントとプラグの周辺にほこりがたまりやすくなります。そこに水や湿気が加わるとプラグの刃と刃の間に電気が流れて火花放電を繰り返します。そうすると、その部分が劣化し、電気が通るようになるため、発火することがあります。

\*\*ショートとは、電源コードの2本の銅線同士が直接接触してしまったり、瞬間的に大きな電流が流れて火花が発生します。このような状態をショートといいます。

経年劣化の事故を防ぐためにはどうしたらいいの？！

長期使用製品安全点検・表示制度の対象ではない製品についても、製品事故を防ぐために定期的に点検しましょう。



経年劣化による製品事故を防ぐため、長期使用製品安全点検・表示制度があります！！制度を確認し点検・登録しましょう。